

緩和ケア病棟および有床診療所における緩和ケアの質の評価に関する研究

研究対象：

本研究は緩和ケアを提供している坂の上ファミリークリニック、聖隷三方原病院、国立がん研究センター東病院の3つの施設で行われるものです。

2011年11月1日から2015年5月31日にその施設で亡くなられた患者さんを対象に過去にさかのぼり、全体で計300人の患者さんのご遺族あてに、緩和ケアの質の評価にご協力頂きたく、アンケート調査票を送付させていただきます。

国立がん研究センター東病院緩和ケア病棟では計100名の亡くなられた患者様のご遺族あてにアンケート調査票を送付させていただきます。

研究の概要：

ホスピス・緩和ケアにおいては、患者さんやご家族の苦痛を和らげ、生活を支援することやケアの質を維持することは重要な役割です。しかし、今後のがん患者さんの増加に対して、ホスピス・緩和ケア病棟のみで十分対応することは難しいと考えられています。そこで、対応の一つとして、診療所に入院設備を備えた有床診療所や、辛い症状がある時にすぐ入院し、できるだけ早く症状を和らげ、自宅療養への移行を勧める急性期型の緩和ケア病棟などの役割分担が重要になるのではないかと考えています。つまり、有床診療所とホスピス、急性期型の緩和ケア病棟がお互いに協力しながら役割を分担することで患者さんの生活を支えることを目指しています。

しかし、これまで、有床診療所とホスピス、急性期型の緩和ケア病棟で行われたケアに対し、患者さんのご家族がどのようにお感じになられているかを調査し比べたものはありません。

そのため、今回の調査は3つの目的で実施します。1つ目の目的は、有床診療所やホスピス、急性期型の緩和ケア病棟で治療やケアを受け、お亡くなりになられた患者さんのご家族が、実際に受けられた医療をどのようにお感じになられているかを調査し、わが国のがん患者さんに対する緩和ケアを、今後どのように発展させていったらよいかを検討することです。

また、2つ目の目的はこのアンケートの結果を個人が特定されないかたちように集計し、個人が特定される情報を除外したのちに、調査参加施設に集計結果や自由記述の回答をご報告し、それぞれの施設が、より質が高い緩和ケアを提供できるように、改善が必要な点を検討することです。

最後に3つ目の目的として、わが国の緩和ケアが直面している様々な課題に関する質問にご回答いただき、それぞれの課題について実態を明らかにし、問題の解決策を検討することです。

研究の意義：

今回は、患者さんの辛さを和らげるために、また、ご遺族の方々の気持ちの辛さを少しでも軽減できるようにするために、日本の緩和ケアの質を高めていくことを目標とし、有床診療所とホスピス、急性期型の緩和ケア病棟で行われているケアの質を評価し、問題点を明らかにしていきます。

方法：

アンケート用紙を郵送させていただいております。アンケートの記入には、20分程度を要します。同封しておりますアンケート用紙にご記入いただき、ご返送をお願い申し上げます。アンケートをお受け取りになられてから、1ヶ月以内にご投函いただければ幸いです。なお、返送をもって調査への同意とさせていただきます。

事務局で一括してアンケート用紙を取りまとめた後に情報の解析を行います。

個人情報に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申して出てください。

調査による負担：

この調査は、参加される方々の人権が守られるように慎重に検討し、各病院または施設の倫理委員会の承認を得て実施しております。質問はなるべくご負担にならないように検討いたしましたが、項目によってはお答えいただくことでつらい体験を思い出されることがあるかもしれません。その場合は、その項目のご回答をいただかなくても結構ですので、可能な範囲でご記入いただければ幸いです。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 緩和医療科 木下寛也

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724